

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	中川の郷療育センター		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 2月 13日		2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	9:00~16:00と比較的長い時間でお子様をお預かりしています。	お友達と一緒に遊ぶグループでの療育活動とお子様の成長に合わせた個別での療育活動を実施しています。長い時間でのお預かりなので、休息の時間もスケジュールに取り入れ、メリハリを持って過ごしていただけるように工夫をしています。	さらに保護者の方が安心してお子様をお預けできるように、個別への対応の充実を図り、ニーズに寄り添った支援内容の提供に努めていきます。
2	登園・降園時に、保護者様と職員が直接お子様の様子をお話することができているため、情報の共有がスムーズにできています。	看護師・保育士がそれぞれの視点で、お子様のその日の様子や成長の様子等を保護者と直接お話しをさせていただいています。また、保護者からもご家庭での様子を伺い、支援に繋がれるよう工夫をしています。	引き続き保護者の方が安心してお子様をお預けできるように、保護者のニーズや気持ちに寄り添った支援に努めていきます。
3	敷地内に医師も常駐しているため、医療的ケアが必要な重症度の高いお子様も積極的に受け入れています。また、事業所内での関係機関との情報の共有や連携の体制が整っています。	直接支援を行っている看護師や保育士の他に、リハビリテーション課や栄養課等もチームとして支援を行っています。相談事が生じた際には連携してスムーズな対応を心掛けています。	引き続き多種職で連携を取りながら情報の共有を行い、チームでお子様の支援に取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ないです。	年に1回のペースで参観・茶話会を開催し、保護者同士の交流の場を設けています。保護者からは茶話会に好意的な声があがっているため、保護者のニーズを確認し、回数等の検討や対応をしていきます。	茶話会の開催方法や回数等の工夫が必要ですが、保護者のニーズに応じた方法を検討していきます。
2	地域の他事業所との連携が弱いです。	他事業所等との連携や交流の支援は提供できていません。他事業所や保育園等と併用して通われているお子様の保護者から情報をいただいているのが現状です。必要時や保護者からの依頼があった際には検討が必要と感じています。	保護者からのニーズを確認しながら、必要とされている連携や交流の方法を検討していきます。
3	送迎や入浴のサービスは行っていません。	送迎や入浴を希望される保護者からの声はあるものの、実現は難しいのが現状です。	送迎や入浴のサービスの提供が難しい分、個別への対応やニーズに寄り添った療育活動を工夫し、充実した支援が行えるように努めていきます。